

大人が楽しむ科学教室 2021

4月、5月のプログラム

多彩な講座を様々なシリーズで年間約40回開催。(1回のみ参加可)



千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2021

対象 高校生以上
(テーマに関心のある小中学生のみでの参加可)

申込 電話(043-308-0511 受付時間 9:00~17:00)で事前予約
※各開催月の前月1日より受付開始。(電話のみでの受付)
※キャンセルの場合はご連絡をお願いいたします。

料金

常設展示入館料

(大人510円 / 高校生300円 / 小中学生100円)

【下記の方は入館料無料】※購入時に確認できるものをご提示ください

- 千葉市内在住の65歳以上の方
- 障害者手帳をお持ちの方と介護者1名様まで

身近な科学シリーズ

昆虫のからだ、そのつくりとはたらき

4月3日(土) 13:30~15:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】野村 周平 (のむら しゅうへい) 国立科学博物館 動物研究部 グループ長



昆虫の体には、人間や大きな動物にはない、不思議なはたらきをもつ装置がいくつもついています。近年の観察機器の発達によってそれらは、これまでになく詳しく観察することができるようになりました。それらは昆虫が生き残るために、どんな役目を果たしているのでしょうか？いろいろな昆虫のいろんなつくりやスポットを当てて、考えてみましょう。

千葉市制100周年 記念シリーズ

宇宙からアジアの農地を見つめる -デジタル画像が農業を変える-

4月10日(土) 13:30~15:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】本郷 千春 (ほんごう ちはる) 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 准教授



緑色のイネや黄金色のコムギを衛星から眺めると、その景色は今年の収穫の出来や被害状況を物語っています。医師が健康診断を行うように、衛星やドローンの画像を使って作物の収量・栄養状態、土の種類、病虫害の発生状況などを調べることができます。講座では、国内外の農業現場で画像データがどのように活用されているかについて紹介します。

宝石の科学シリーズ

地球からのギフト ~歴史的ジュエリーを解剖する~

4月17日(土) 13:30~15:00 【会場】8階 科学実験室B 【定員】30名

【講師】目黒 佐枝 (めぐろ さえ) 日本ジュエリー・アカデミー 講師



2018年、スイスで行われたオークションで世界の注目を集めたマリーアントワネット由来のジュエリーがありました。大粒のイエローダイヤモンドのブローチ。そして、歴史に残る最高額を付けた天然真珠。これらを例に挙げて、ダイヤモンドを徹底解剖！ダイヤモンドはどこから来て、どうして色がつくのかを解説します。そして、真珠の光沢や虹色は何故感じられるのか、地球が育んだ美を科学的視点から見えてみましょう。

物理学シリーズ

宇宙と地上の錬金術

4月24日(土) 13:30~15:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】中田 仁 (なかだ ひとし) 千葉大学大学院理学研究院 物理学部門 教授



我々の身の回りの物質は全て元素からできています。物質構造の理解が進み、異なる元素を作る「錬金術」には原子核反応が必要なこと、また、自然界ではそれがビッグバン以来宇宙の中で行われてきたことが明らかになっています。現在では加速器実験により「錬金術」が地上でも可能で、それによって宇宙の歴史をたどり元素の起源を探る研究も進んでいます。物質構造の理解の歴史、元素の起源に関する知見や未知の原子核生成及び関連した研究の現状などを紹介します。

市街地におけるコミュニティベース精密農業の試み

5月4日(火・祝) 13:30~15:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】 澁澤 栄 (しぶさわ さかえ) 東京農工大学卓越リーダー養成機構 特任教授



精密農業(スマート農業)は、農場のばらつきを詳細に記録し、データに基づいて環境負荷と収益のバランスを重視する営農マネジメントであり、農業者との協働が必須になる。これを応用し、東京都府中市において、市役所や農業者および小学校教職員の協力のもとに、臭いの問題を解決し、給食残渣を堆肥化して地元農家が野菜栽培し、給食に提供するという、小さな市内循環システム構築の経験を紹介する。

ヒトの色覚の起源と多様性

5月8日(土) 14:30~16:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】 河村 正二 (かわむら しょうじ) 東京大学大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 教授



ヒトの色覚には「色弱」として知られる稀とは言えない多様性があります。一方ヒトに近いサル仲間には「正常」色覚ばかりで多様性はほとんどありません。ところが、もう少し遠縁の中南米に棲むサル仲間には色覚多様性の宝庫です。鳥類や爬虫類では想像を絶する高度な色彩感覚の世界があり、魚類には驚異的な色覚の柔軟性が見られます。こうした進化の視点から、ヒトの色覚多様性には適応的な意味があると考えられます。

CO₂の光燃料化

5月30日(日) 13:30~15:00 【会場】10階 探究実験室 【定員】20名

【講師】 泉 康雄 (いずみ やすお) 千葉大学大学院理学研究院・理学部 化学研究部門 教授



化石資源の消費と合わせて、生成したCO₂を持続可能な方法で燃料に戻すことができれば、カーボンニュートラルサイクルとなる。本講座では、自然光のみを利用し、安価な光触媒を見つけることで、CO₂を燃料化する研究成果をご紹介します。CO₂は熱力学的に安定な物質であり、燃料に至る反応経路をどのようにして調べることができたのか、分かりやすく述べる。

千葉市科学館 ご来館時のお願い



検温を実施しています。
発熱のある方は、入館いただけません。



必ずマスクの着用をお願いします。マスクをお持ちでない場合は、入館をご遠慮いただけます。



館内では、手洗い、手指の消毒をお願いします。



館内ではお食事ができません。所定の場所で、飲物のみお取りいただけます。



休 止 中

一部の展示物は休止中です。詳しくは千葉市科学館HPをご確認ください。



千葉市中央区中央4-5-1 Qiball(きぼーる)内 7-10階
TEL:043-308-0511(代表)

開館時間=9:00~19:00

(新型コロナウイルス対策のため、開館時間が短縮される場合があります)
<https://www.kagakukanQ.com>

Twitter: @chiba_kagakuQ Facebook: @ChibaCityMuseumofScience

電車=JR総武線千葉駅から徒歩15分

京成電鉄千葉中央駅から徒歩6分

千葉都市モノレール=葭川公園駅から徒歩5分

バス=千葉駅東口7番乗り場より中央三丁目下車徒歩1分

